

(別紙)

提出書類の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 <input type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書(変更)				
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都江東区冬木14-5				
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	株式会社ニヤクコーポレーション 代表取締役 堀江 浩太				
主たる業種	44 道路貨物運送事業				
事業概要	トラック事業				
事業者の区分	<input type="checkbox"/> みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第2号に該当する特定事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 同規則第9条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第4号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の者				
計画期間	令和元年度～令和4年度				
排出状況及び目標	目標設定の方法	基準年度の実績① (H30)年度	前年度の実績 ()年度	目標年度② (R04)年度	増減率 (②-①)/①×100
	総排出量	1,551.0 t-CO ₂	t-CO ₂	1,551.0 t-CO ₂	0.0 %
	原単位の排出量	0.004352 t-CO ₂	t-CO ₂	0.004352 t-CO ₂	0.0 %
原単位の考え方	宮崎県内の売上金額あたりの排出量 原単位=『排出量(t-CO ₂)』÷『宮崎県内の売上金額(千円)』				
目標達成のための基本方針	燃費改善による燃料使用量の削減に取り組めます。				
目標達成のための推進体制	オペレーション統括グループ部長を推進責任者とします。				
目標達成のための措置の内容	全社燃費コンクールを開催し、車両事業所単位での燃費改善率を競い上位車庫への表彰等を行います。燃費改善状況は、本社主管部より月次公開し、各所の取組み意識向上を図ります。				
特記事項	燃料使用量の削減と密接な関係の車両台数や業務量が変動するため、総排出量、原単位の排出量ともに具体的目標を定めておりません。				

備考 1 「基準年度」は、原則として計画書を提出する年度の前年度とすること。ただし、提出者が別に基準となる年度を定めている場合は、当該年度を基準年度とすることができる。

2 提出者の計画が温室効果ガス排出量削減に向けた取組であるにもかかわらず、事業拡大等の理由により温室効果ガス排出量が増加する見込みである場合は、原単位による目標を設定することができる。この場合、「原単位の排出量」とは、「総排出量」を当該年度の生産数量、建物延床面積その他の温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値で除して算出した値とし、併せて「原単位の考え方」についても記入すること。